



ヨーネ病検査は全て陰性でした

家畜伝染病予防法に基づくヨーネ病検査は、県内の牛飼養者を対象として、肉用牛は2年、乳用牛は5年ごとに実施しています。

本年度の管内では、八戸市、五戸町、南部町、階上町、新郷村の肉用牛を対象とした検査を行い、全てで陰性を確認しました。

また、昨年、ヨーネ病が発生し、継続検査を行っていた農場についても定められた全ての検査が終了し、清浄確認農場となりました。

引き続き、飼養衛生管理基準を遵守して、本病の侵入防止に努めましょう。

ヨーネ病の発生・まん延防止のために

- ①畜舎の定期的な清掃・洗浄・消毒を行い、特に牛床、飼槽は常に清潔にしましょう。
- ②踏込消毒槽の設置、専用長靴の使用等、汚れを持ち込まない、持ち出さないようにしましょう。
- ③分娩牛房は清潔に保ちましょう。
- ④子牛は可能な限り早期に成牛(母牛を含む)から離して飼養しましょう。
- ⑤牛の排せつ物、排せつ物を含む敷料は切り返しを十分に行い、完全に熟成(たい肥化)させましょう。

三八地域県民局地域農林水産部 八戸家畜保健衛生所

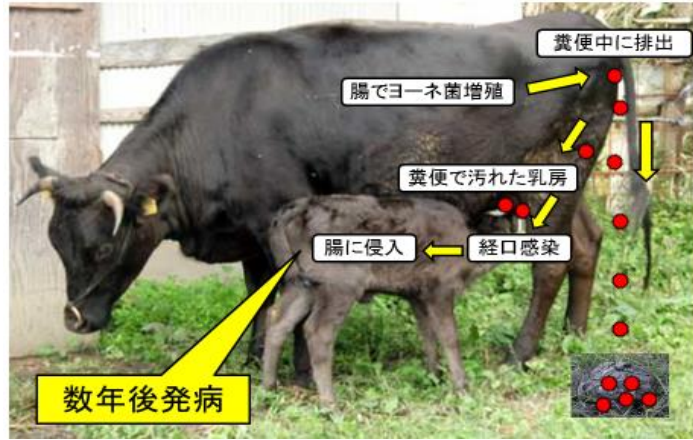
TEL : 0178-27-7415 FAX : 0178-27-7418

土日祝祭日の場合は、家保携帯 090-7069-7714

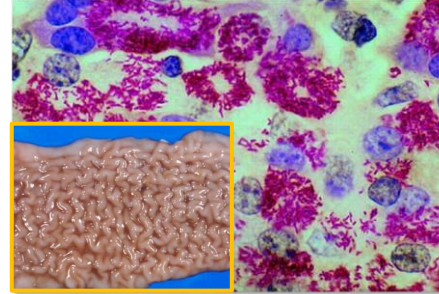
ヨーネ病とは？

1 病気の概要

- ◆ヨーネ菌の感染によって起こる牛、水牛、めん山羊、鹿の伝染病
- ◆症状は、治療に反応しない下痢、やせなど
- ◆感染から発病までに長期間かかり、治療方法もワクチンもない
- ◆感染の検出までに長期間かかり、清浄化が難しい
- ◆感染牛の糞便に含まれた菌を口から摂取することで感染
- ◆感染牛自体は無症状でも、糞便には大量の菌が含まれる
- ◆子牛の時期に感染しやすい

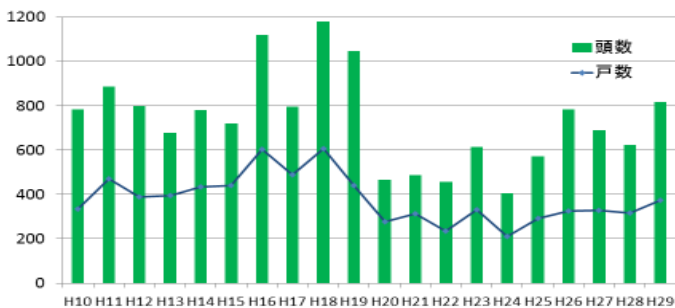


継続的な下痢による著しい削瘦(やせ)

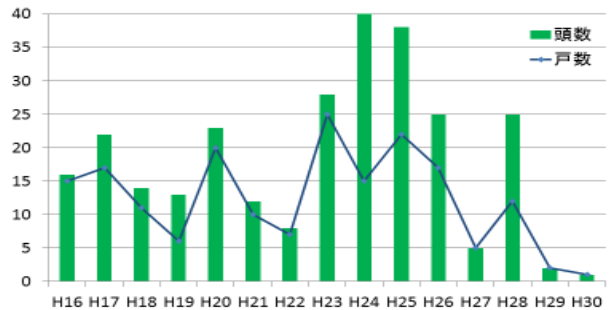


腸の病変とヨーネ菌(右端の写真 赤く染まっている部分)

2 ヨーネ病発生状況



全国



青森県

全国では、直近10年間で再び増加傾向。

青森県では平成22年度以降、本病の発生が増えたことから、平成25年度に、検査体制を見直しました。

現在は、肉用繁殖牛は2年ごと、乳用牛は5年ごとに検査をおこなっています。近年は県内での本病の発生は減りつつあります。